

「アルカディア街道ー・B俱樂部」が発足

イザベラ・バードの足跡たどり 本県の魅力探る

明治時代に英国の女性旅行家イザベラ・バードが旅し、アジアのアルカディア(桃源郷)とたたえた本県の魅力を再発見する「アルカディア街道ー・B俱樂部」が発足した。バードが歩いた県内ルートの探訪や、関連する歴史・文化の発掘などを通じ、地域活性化を図る。



イザベラ・バードが「大きな2階建ての病院」と書いた山形市の旧済生館本館を訪れる「元気・まちネット」の踏査隊。「I・B俱樂部」はバードを通じ本県の魅力を再発見する

荘内銀ふるさと創造基金 39団体に助成金 11年度

地域の文化・教育団体の支援を目的とした公益信託荘内銀ふるさと創造基金(以下「基金」)が、11年度助成金贈呈式が24日、山形市の山形グラントホールで開かれ、39団体にそれぞれ10万円から100万円までの助成金が贈呈された。

基金の代表に贈呈書が授与された。本年度の助成総額は600万円。荘内銀行の国井英夫頭取が「困難な時期だからこそ、地域の活動を灯を絶やさぬよう支援の手を緩めてはいけません。基金を通じて、皆さんの活動が、地域の活性化に貢献することを祈ります。」とあいさつした。

会長に贈呈書を手渡した。2001年度にスタートした同行の地域貢献活動。本年度を含めこれまで893件の応募があり、このうち計319件に総額7825万円を助成した。本年度の助成先は次の通り。

- 田市)「酒田こども歌舞伎」の会(同)特定非営利法人元氣王国(同)遊佐中(遊佐町)NPO新庄映画センター(新庄市)肘折温泉地域協議会(蔵村)四ヶ村棚田ほたる火コロンサート実行委員会(同)グループ農夫の会(山形市)村
- 自身障害者福祉協会(庄司孝範会長)は、7月9、17日に鶴岡市末広町の庄内地域産業振興センターで開催する「県パソコンボランティア養成講座」の参加者を募集している。
- 講座は計4回で、開催日時7月30、06、7月31日、

I・B俱樂部は、2007年に2回に分けてバードの県内ルートを踏査した東京のNPO法人「元気・まちネット」(矢口正武代表理事)戸沢村出身の呼び掛けで結成した。会長は元県立博物館長の錦啓さん。バードの足跡を調査研究している山形教育用品社長の渋谷光夫さんが副会長を務める。

活動内容は▽バードに関係した歴史・文化の発掘と研修・探訪▽県内外の地域研究団体、行政機関との情報交換▽山形を元気にするイベントの企画や参加など。アルカディア街道のスタンラリーや景観百選の募集に取り組む構想もある。



京都府宇治市の平等院で本尊・阿弥陀如来坐像の台座から見つかった紙片。中央に「浄」の文字(平等院提供)

6月25日から1泊2日での第1回研究会の旅を行う。南陽市(金山町のコースで、村山市の湯舟温泉に宿泊。「日本奥地紀行」などを参考に、明治時代の面影を残す石橋や建造物、峠道、並木などゆかりの場所を訪ねる。

I・B俱樂部は通信費など年会費千円。研究会の旅は会員以外でも参加でき1万8千円(宿泊不要の場合は9500円)。問い合わせは「まちネット」の矢口さん090(5494)8699か山形事務局の大沼さん090(22775)7534。

自己幹細胞を移植 心臓病治療に成功 岡山小児で世界初

平等院創建時の平安期の写経か 本尊台座で発見 平等院(京都府宇治市)は24

岡山大病院(岡山市)は24日、先天性の心臓疾患がある1歳の女児に、心筋になる能力がある「幹細胞」を本人の心臓から採取し、再び心臓に戻して心筋を再生させる移植治療を実施し成功したと発表

で初めてとしている。女児は左右の心室のうち、一つが正常な発育を示さなくなる機能的単心室症。3月30日にこの修復手術を受けた際に女児の心臓組織から幹細胞を採取。体外で培養して増やし、4月26日にカテーテルで心臓の冠動脈内に戻した。移植後1週間退院。5月24日の検査では心筋重量が約4%増え、心臓の収縮機能が10%程度回復した。

つかった紙片が、創建時の平安時代に書かれた写経、紺紙金泥経(こんしきんでいきよ)の一部の可能性が高いことが分かったと発表した。センチュリーミュージアム(東京)の神崎充晴館長(古筆学)が調査し、紺色の紙片数枚から「浄土」などの金字を判読。筆遣いが10世紀後半から11世紀初期の特徴に合致した。

参加対象はパソコンでワープロ操作、ホームページの閲覧、メール通信が可能で、講座終了後、パソコンボランティア派遣事業の登録者として派遣要請に応じられる人。定員10人で参加費無料。申し込み締め切りは7月31日。